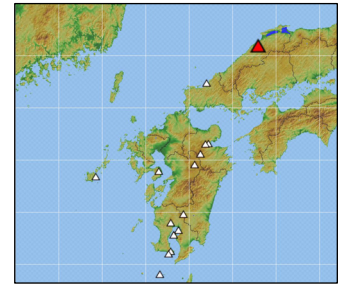


79. ^{さんべさん}三瓶山 Sanbesan

北緯 35° 08' 26" 東経 132° 37' 18" 標高 1,126m (男三瓶山)
(三角点・三瓶山)



三瓶山全景 三瓶山北側から 大田市観光振興課提供

概要

三瓶山は島根県西部に位置する、頻繁に爆発的噴火活動を行ってきた火山である。約 10 万年前から活動を開始し、何度かのプリニー式噴火と火砕流噴火が確認されている。中央部には直径約 4.5km のカルデラがあり、その中にはいくつかの溶岩ドームがある(服部・他, 1983; 林・三浦, 1987)。構成岩石の SiO₂ 量は 63.9~72.1 wt.% である。

地形図

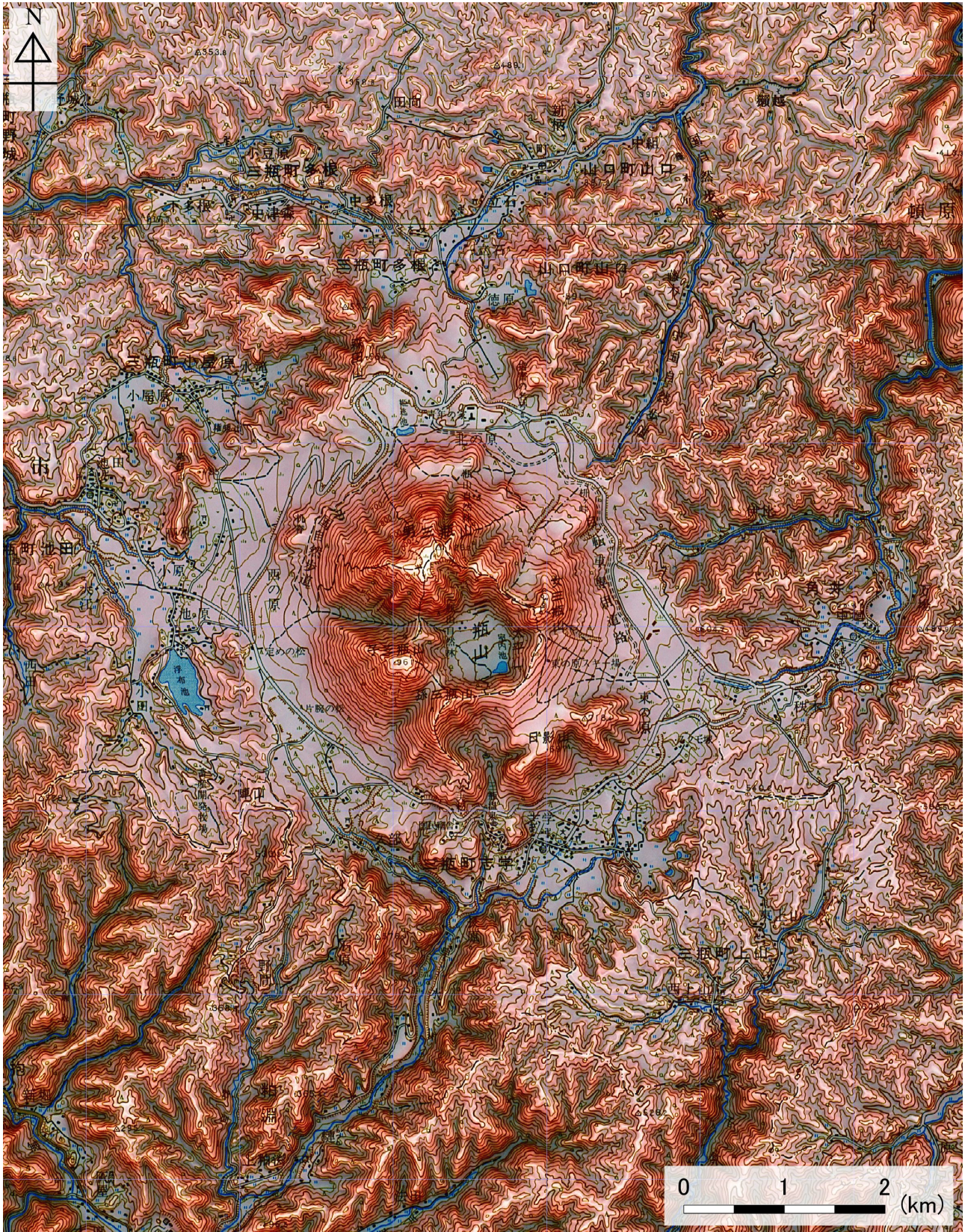


図 79-1 三瓶山の地形図.

国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図(三瓶山、石見大田)及び数値地図 50m メッシュ(標高)

噴火活動史

・過去 1 万年間の噴火活動

約 1 万年前以降には、約 4500 年前、約 3600 年前、それ以降で時期不詳の少なくとも 3 回の火山活動があったと推定されている。これらの火山活動の噴出物は主にデイサイトで、降下火山灰、火砕流、溶岩の噴出、火砕丘の形成、火山泥流の発生などが知られている。特に火砕流および火山泥流は遠方にまで到達した実績がある。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
13←→12.9ka ^{2,11}	三瓶山山頂近辺 (詳細位置不明) ^{11,13}	マグマ噴火 ^{11,13}	火砕物降下。
5.6←→5.5ka ¹³	三瓶山山頂近辺 (詳細位置不明) ^{2,11,13}	マグマ噴火 ^{2,11,13}	火砕物降下→火砕流→火砕物降下、火砕サージ。
3.87ka ⁶	三瓶山山頂付近 ^{2,3,9,11,12,13}	マグマ噴火→(山体崩壊)→マグマ噴火、(山体崩壊) ^{2,3,4,7,9,11,12,13,14}	志津見火砕物降下→三瓶溶岩ドーム、立石岩屑なだれ→太平山火砕流、火砕サージ、火砕物降下、伊比谷岩屑なだれ。 マグマ噴出量は2.6 DREkm ³ 。(VEI4) ³
1.4←→1.3ka ⁸	三瓶山山頂近辺 (詳細位置不明) ^{8,11}	水蒸気噴火? ^{2,8,11,13}	火砕物降下。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000 年前」を意味し、西暦 2000 年を 0 ka として示した。

A←→B: A 年から B 年までの間のどこかで起こった噴火イベント

【引用文献】

- 鈴木隆介・他 (1968) 三瓶火山の活動史と地形. 地理学評論, **41**, 386-387.
- 松井整司・井上多津男 (1971) 三瓶火山の噴出物と層序. 地球科学, **25**, 147-163.
- 服部 仁・他 (1983) 三瓶山地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 168p.
- 林 正久・三浦 清 (1987) 三瓶火山のテフラの層序とその分布. 山陰地域研究, **3**, 43-66.
- 松元拓朗 (1994) 三瓶火山山頂丘溶岩の化学組成. 地質学雑誌, **100**, 639-641.
- 加藤めぐみ・他 (1998) 年縞堆積物によって推定された三瓶大平山火山灰の降灰年代. 日本第四紀学会講演要旨集, **28**, 164-165.
- 草野高志・中山勝博 (1999) ブロックアンドアッシュフローの堆積過程(予察): 島根県三瓶火山の太平火山火砕流堆積物の例. 火山, **44**, 143-156.
- 福岡 孝・松井整司 (2000) 三瓶火山の山頂火山灰について. 島根大学地球資源環境学研究報告, **19**, 27-29.
- 榎根知夏子・他 (2001) 三瓶火山における火砕流-岩屑なだれ堆積物の定置温度見積もりと給源推定. 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, 140-140.
- 松井整司 (2002) 三瓶火山の噴出物とその年代. 志津見ダム建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告 12, 下山遺跡(2), 国土交通省中国地方整備局・島根県教育委員会, 225-233.
- 福岡 孝・松井整司 (2002) AT 降灰以降の三瓶火山噴出物の層序. 地球科学, **56**, 105-122.
- 榎根知夏子・他 (2002) 三瓶火山における完新世の火砕流・サージ・岩屑なだれ堆積物の定置温度見積もり. 地球惑星科学関連学会合同大会予稿集 (CD-ROM), V032-006.
- 福岡 孝・松井整司 (2004) 三瓶火山の噴火様式の変遷. 島根県三瓶自然館研究報告, **2**, 9-14.
- 田川亜紀子・鎌田桂子 (2004) 本質岩片の定置温度からみた三瓶太平山火砕流の噴出様式. 日本火山学会講演予稿集 2004, 158.

・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

近年の火山活動

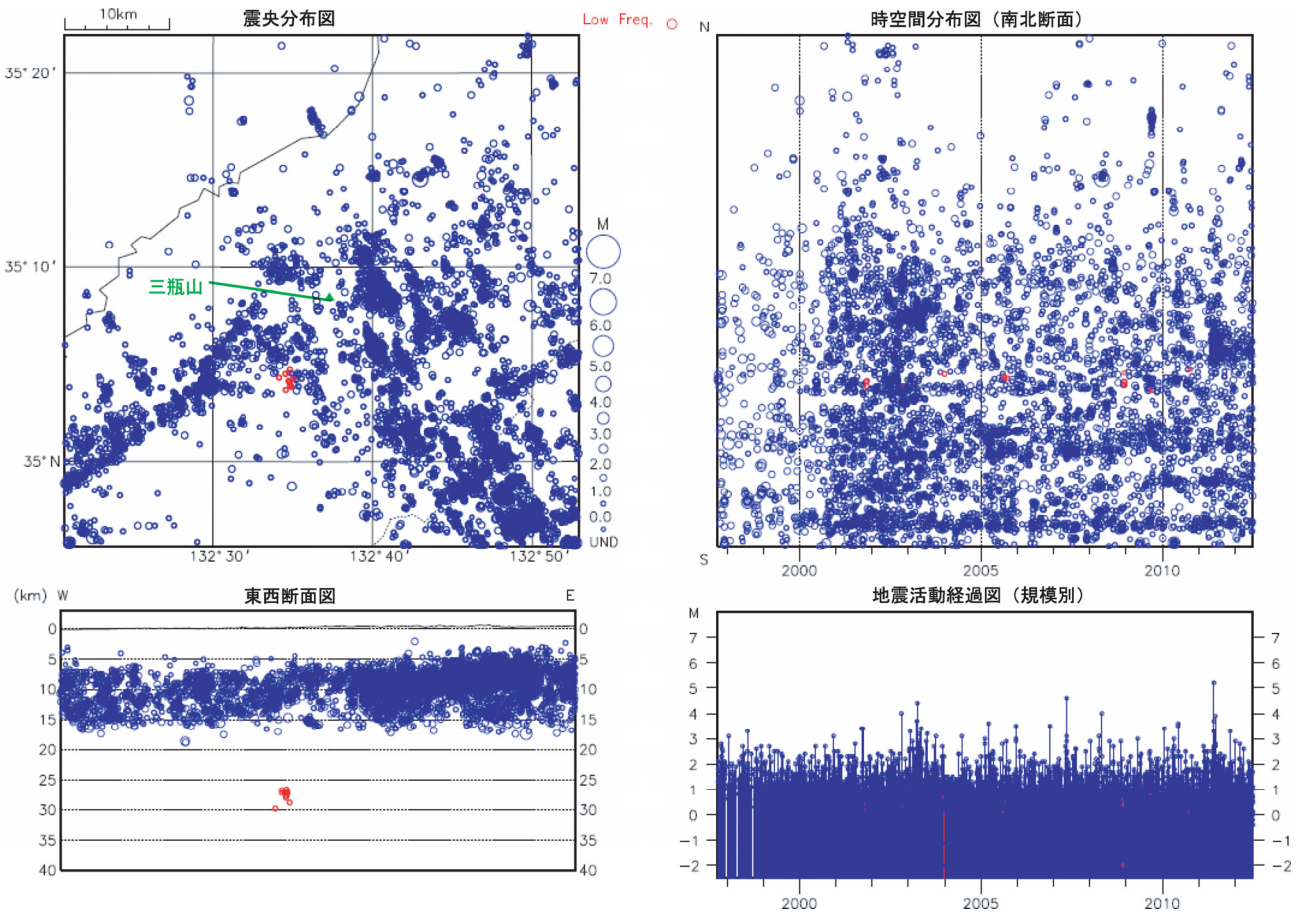


図 79-2 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)
(1997年10月1日～2012年6月30日).

防災に関する情報

- ①火山防災協議会
なし
- ②避難実績及び入山規制等の実績
なし

社会条件等

- ①人口（平成 23 年 12 月 1 日現在）
- ・大田市：38,879 人
 - ・飯南町：5,532 人
- ②国立・国定公園・登山者数等
- ・「大山隠岐国立公園」
 - ・観光客数：年間 592,000 人（平成 22 年観光客入込状況：大田市観光振興課資料）
 - ・登山者数の統計：なし
- ③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
島根県県央事務所	島根県大田市大田町大田イ 236-4	0854-84-9572
大田市役所	島根県大田市大田町大田ロ 1111	0854-82-1600
飯南町役場	島根県飯石郡飯南町	
赤名庁舎	下赤名 890	0854-76-2211
頓原庁舎	頓原 2319	0854-72-0311
来島支所	野萱 311-6	0854-76-2393
志々支所	八神 117-1	0854-73-0001

- ④主要交通網
- ・鉄道：JR 山陰線「大田市駅」
 - ・道路：県道 30 号、県道 40 号、県道 56 号
 - ・その他公共交通機関：石見交通（三瓶線、他）
- ⑤関連施設
- 大田市
- ・島根県立三瓶自然館サヒメル

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
大阪管区气象台地震火山課	大阪府大阪市中央区大手前 4 丁目 1-76	06-6949-6307
松江地方气象台	島根県松江市西津田 7-1-11	0852-21-3794

気象庁および大学等関係機関の観測網

広域

※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の20万分の1地勢図(浜田)

凡		例	
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所) (自治体)	
● 震度計	★ GPS	● Hi-net	⊕ 震度計
● 地震計 (短期)		● K-NET	
(地震波観測)		● KiK-net	

図 79-3 観測点配置図.

引用文献

服部 仁・他 (1983) 三瓶山の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 168p.

林 正久・三浦 清 (1987) 三瓶火山のテフラの層序とその分布. 山陰地域研究(自然環境), 3, 43-66.